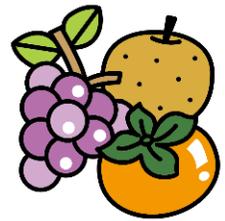


11月食育だより



令和6年11月
大山崎小学校

過ごしやすい季節になりました。



11月に入りました。昨今は過ごしやすい季節が短くなり、春や秋がなくなりそうな気配ですね。

10月からようやく過ごしやすい気候になりましたが、朝晩の寒暖差があり、風邪やインフルエンザなど様々な感染症が流行り、体調管理が難しくなっております。

“食欲の秋”という言葉を知っていますか？気候がよくなると、胃腸が元気になるため食欲が湧くことがあります。よく食べて、よく寝て、よく活動して、ストレスを溜めない・・・そんな生活をみなさんが送れますように願っております。



11月と12月に、小中連携給食を実施します。

大山崎中学校では、夏休みに献立(1品)を考える家庭科の宿題がありました。

折角なので、中学生が考えた献立を実際に11月12月の小中学校の給食で実施し、大山崎町の小学生中学生みんなからの感想を聞くという、“小中連携給食”を実施することになりました。

選定委員は、大山崎中学校の家庭科の今井先生、大山崎中学校の給食委員、中学校と小学校の栄養教諭3名(樋口・田中・西田)がそれぞれ給食として実施したい献立を部門別に選びました。

○実施する献立(6品)

- ・主食の部 ・大おかずの部 ・小おかずの部(2点) ・汁物の部 ・デザート

また、栄養教諭3名で“給食の実施はできないけれど、見た目・発想力などの観点からおもしろい!と思われる献立”を入選作品として選びました。

○入選作品(6品)



「栄養士のひとりごと」

今年度の給食も半分以上が終わりました。10月は食品ロス月間でしたが・・・日中は暑さがしつこく残り、運動会の練習等で大忙しの日々だったので、残食は少し多めでした(;▽;)。

2学期後半は、新しい試みを開始します。今月のたよりでも紹介させてもらった“小中連携給食”です。中学生の考えてくれた献立(1品)を、11月と12月の給食6日に分けて、提供します。

11月は、“セルフキンパ”、“甘酢からあげ”、“パンナコッタいちごソース”が出ますよ。

調理員さんたちと力を合わせて頑張ります。みなさん、感想聞かせてくださいね!! (栄養士 田中)

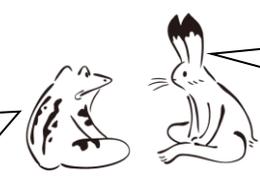
選ばれた献立を紹介します。

- 【主食の部:樋口賞】 セルフキンパ 3年 岡本 花さん
- 【大おかずの部:西田賞】 甘酢からあげ 2年 鳥居 陽さん
- 【小おかずの部:給食委員会賞】 マカロニサラダ 2年 宮下 紡さん

- 【小おかずの部:今井賞】 ヤムウンセン 3年 向井 丑一さん
- 【汁物の部:給食委員会賞】 コーンポタージュ 3年 安井 万葉さん
- 【デザート:田中賞】 パンナコッタ いちごソース 2年 野沢 心さん

【入選作品(6品)】

新嘗祭は、11月23日の行事だね。古くから収穫を感謝する日で、日本書紀にも記載されているそうだよ。“ねぶかめし”好きだね。



11月24日は“和食の日”だね。ユネスコの無形文化遺産になっているよね。